

行政視察報告書

令和4年5月17日

呉市議会議長 様

呉市議会議員

藤原 昌行
阪井 良
檜垣 美良
上村 臣男

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

令和4年 5月9日(月), 10日(火), 11日(水)

2. 調査項目

長崎県長崎市 「まちぶらプロジェクト」の取り組みについて

長崎県佐世保市 クルーズ誘客について

佐賀県武雄市 有害鳥獣対策について
聴覚障害者向けライブ字幕サービス

3. 参加議員

藤原 広, 阪井 昌行, 檜垣 美良, 上村 臣男

4. 随行者

議会事務局主事 重森 貴菜

長崎県長崎市

■調査項目

「まちぶらプロジェクト」の取り組みについて

・調査対応者

まちづくり部まちなか事業推進室 係長 甲斐 大貴

・調査期日

令和4年5月9日（月） 午後2時～午後3時30分

・長崎市の概要

人口：409,118人

世帯数：187,423世帯

・調査目的

呉市では駅前開発に注力するなかで、長崎市の「まちなか」地区の魅力の顕在化や回遊性を促すために平成25年度から取り組まれている「まちぶらプロジェクト」が参考になると考え、ハード・ソフト両面から視察することとした。

・調査内容

長崎市の「まちなか」は、歴史及び文化資産の集積と商業業務・公共サービスなどの集積があり、長崎市をけん引するエンジンにあたる地域である。また、「陸の玄関口」である長崎駅周辺と「海の玄関口」である松が枝周辺の整備により、まちの形が大きく変わっていきこうとしている。このような状況は、歴史的な文化や伝統に培われた長崎の中心部である「まちなか」において大きな契機となっている。

(調査ポイント)

- 1 まちなか軸の整備やそれを軸とした観光客のための整備について
- 2 歩道及び街灯、休憩スペースの整備について
- 3 各地区にバス乗降所及び多目的トイレの設置について
- 4 各地区のまちなか軸を起点とした誘導案内について
- 5 各地区の拠点施設インフォメーション機能の整備等について

今回は、実際にまちぶらをしながらの現地視察であった。「まちなか」を新大工地区、中島・寺町・丸山地区、浜町・銅座地区、館内・新地地区、東山手・南山手地区のように5地区に分類しており、今回は中島・寺町・丸山地区を回った。

各ポイントで立ち止まり、町の魅力、特徴を聞き、質疑応答を行った。

また、他の地区にないポイントの説明も受けながら、現地をくまなく視察した。スタンプラリーがあるなど、ちょっとした楽しみもあった。休憩スペースや多目的トイレ等、随所に設置されていた。また、中島川側壁の石積に、一つだけハートの形をした石を探すというスポットは、体験型観光として良いスポットであった。こういったスポットが誘導性を高めている可能性があるように感じる。また、実際に体験していると、もう一つ横になった新たなハート形の石を発見し、新たなスポットを見いだした。

【質疑応答】

Q:このプロジェクトは行政主体なのか。

A:「まちぶらプロジェクト」は、市民をはじめ、たくさんの人たちが手を携えて取り組む賑わいづくりである。

Q:「まちぶらプロジェクト認定制度」とあるが、ソフト面としてどのようなものか。

A:「まちなか」の賑わいづくりに取り組もうとする市民をはじめとした方々に「まちぶらプロジェクト」の当事者としての意識と、地域貢献という社会的な評価を付すことで、「まちなか」の地域力を高めることを目的とした制度である。

Q:「まちぶらプロジェクト」は、ほとんどが市民によって進めているのか。

A:行政側も「まちぶらプロジェクト」に基づき取り組みを展開している。社会情勢等の趨勢、あるいは地域との話し合い等の中で、新たに取り組むとして決定した事項、または、修正等が必要になった事項等に関しては、随時、追加修正等を行いながら、地域と共に計画を進めている。

Q:進め方の方針について

A:「まちぶらプロジェクト」の推進にあたっては、中心市街地の活性化に関する法律第9条に基づく「長崎市中心市街地活性化基本計画」、都市再生特別措置法第46条に基づく「都市再生整備計画（まちなか地区）」及び都市再生推進事業制度要綱第2条の5に基づく「長崎市中央部・臨海地域（まちなかエリア整備計画）」などに位置付けるとともに、社会資本整備総合交付金等の活用を図るなど、財源の確保に努めている。

【呉市での展開の可能性】

呉市も負けずに海軍カレー巡りという楽しみがあるが、長崎のまちなか軸の考え方はヒントになると考える。今年から5年をかけて、観光進行計画を推進していくが、観光収入800億円の目標達成に向けて研究を深めることが重要であると考えられる。

例えば、まちなか軸にちなんで、何本かのコースが呉市でも必要ではないか。①海軍遺産コース ②文化遺産コース ③自然遺産コース等、検討すべきである。

各コース共に出発の起点を決めて、そこからバスを出す。本市に宿泊する方のバス賃は無料にし、コースを利用する方には粗品を渡す(呉氏の買い物袋等、お得感があるもの)。①のコースでは、出発の起点を大和ミュージアムから出発し、桜松館を回り入船山、歴史の見える丘、アレイからすこじま護岸、高鳥台、大砲台跡、昼食、長門造船歴史館、桂浜温泉等を回り、呉の宿泊ホテルまで送る等を案として提案したい。まだいろいろと検討の余地はあるが、やはり、お得感が重要であると考える。

長崎県 佐世保市

■調査項目

クルーズ誘客について

・調査対応者

港湾部みなと振興・管理課課長補佐兼庶務振興係長	小林 祐介
港湾部みなと振興・管理課 庶務振興係	松本 友美
観光商工部観光課 副主幹	巖 創文
佐世保市議会事務局 議会運営課 議事調査係	日高 良子
佐世保市議会事務局 議会運営課 議事調査係	西 利仁

・調査期日

令和4年5月11日(火) 午後1時～午後2時30分

・佐世保市の概要

人口：240,871人

世帯数：120,412世帯

・調査目的

令和3年9月に呉市観光振興計画を策定した。呉市への観光消費額を年間800億円と掲げており、観光客の増加等で策定の目標金額がより現実味を帯びるよう先進地を参考に視察することとした。

・調査内容

- 1 クルーズ客船誘致に向けた取り組みについて (港湾部)
- 2 佐世保市ファムツアーの取り組みについて (観光商工部)

- 1 佐世保港の利用状況は、国防の要の港としての防衛機能及び県北地区の物流の拠点としての商港機能が共存しており、水域の 80%が米海軍に提供された制限水域となっている。また、九十九島は大小の島々が織りなす美しい自然景観が広がっており「西海国立公園」に指定されている。

国道に隣接した佐世保駅は、駅から少し歩くと新みなと岸壁（水深 7.5m 延長 220m 対象船舶 3 万トン級）があり、電車からも船が見えるなど交通の要衝となっている。

近くにあるクルーズ船対応施設として、三浦岸壁（10 万トン級対応）には、国際ターミナルに入管税関も完備し、クルーズ船からの離発着及び、乗下船ができるターミナルとなっている。この国際ターミナルは、クルーズ船の受け入れ時のみ開設している。この三浦岸壁は、平成 26 年に開始した当時は 7 万トン級であったが、「クルーズ船が大型化していく中で、対応しなくてはならないだろう」との考えから、100mの岸壁の延伸を図り、平成 30 年 4 月には 370mの岸壁として 16 万トン級までの船が受け入れ可能だと判明し、対応船が拡大した。そしてこの岸壁は、限定的に海上自衛隊と共同利用となっている。

これまでの寄港場所である三浦地区に加え、新たな玄関口として整備を行ってきた浦頭地区が完成し、より多くのクルーズ船を受け入れることができる体制が整った事から、より一層の積極的誘致に取り組んでいる。

浦頭地区の整備の背景として、平成 29 年 7 月に、佐世保港が、国交省より「国際旅客船形成港湾」に指定され（官民連携の取組でクルーズ船の受け入れを手挙げ方式により自治体に募り指定）、官民連携により整備を進めてきた。国土交通省から岸壁や泊地の浚渫等を、民間業者の船社（カーニバルコーポレーション）には、ターミナルの整備及び管理運営を行わせている。

佐世保市では、港周辺の環境（屋根付き通路・駐車場・臨港道路等）を整備している。加えて、国・船社とともに三者でも整備を進め、令和 2 年 4 月に環境整備は完成した。しかし、完成はしたものの、新型コロナウイルスの影響でクルーズ船の受け入れが、残念ながらできていないのが現状である。

また佐世保市では、クルーズ客船受け入れ岸壁は 3 か所あり、佐世保港の寄港の特徴として、受け入れは中国からの船が 9 割を占めているため、ポートセールスを進めるにあたり、JTB 等の業者との情報交換や観光客の様々な情報を収集することが重要となる。

- 2 佐世保市ファムツアーの取り組みについて

- ・佐世保市を知って頂く取り組みができていないため、寄港して頂いて何をしていただくか等、魅力等の情報発信が課題であったため、平成 30 年頃からファムツアーを企画した。

- ・このファムツアーは、対象を中国に絞って検討していたが、日本に目を向けての取り組みに変更した。

- ・羽田空港から福岡空港，そして，佐世保市へ足を運ぶというプランである。そのプランは3日間の行程で組んでおり，佐世保ならではのおもてなしをしている。
- ・オンラインやハイブリットによるPRにも取り組んでいる。

【質疑応答】

Q：佐世保市の合併の状況。

A：平成17年，平成18年及び平成22年に合併し，1市6町の合併が完了した。

Q：一部合併していない地域の佐々町が港湾を持っているが影響はないのか。

A：佐々町は県が管理者となっていて問題ない。

Q：佐世保市の観光消費額は？

A：資料を持ち合わせていないので分からない。

Q：情報収集について。

A：協議会には，今後クルーズ船を受け入れようとする自治体も入っている。情報を整理し職員の力で資料作成等に励んでいる。また，羽田空港から福岡空港，佐世保市までのプランにJTBの業者も参加しており，情報収集及び発信をお願いしている。

Q：観光客を受け入れるには官民の連携が大事だが，安全安心への取り組みは。

A：観光客にこだわらず，市民の方も同様にお守りする方向で取り組んでいる。

Q：ユニバーサルデザインの取り組みは。

A：観光客でも市民でも同様に分かるようなバスの表示等を工夫している。

【呉市での展開の可能性】

地域の形状も呉市と類似して親しみのある地域である。日本製鉄の跡地利用等によっては大型クルーズ船の受入れも可能となる。

佐世保市では行き先によって，複数の棧橋ターミナルで分けられ魅力を感じ，港湾設備等の整備の重要性を感じた。また，佐世保市と同様に呉の海上自衛隊と棧橋を共同利用できれば大いに可能性を感じる。

日本一長いアーケード商店街であるとか，国道・駅・港が隣接しており，交通のアクセスも大いにコンパクトとなっている。また，情報によると郊外型の商業施設の建設ができない条例も制定していると伺い，小規模店を守っているようにも感じた。

大きな港の傍には旧軍港があり，発展を支えてきている。佐世保市の発展は呉市の発展にも通じると考えた。

現在、NHK総合テレビで毎週土曜日22時よりドラマ「17歳の帝国」が上映されており、そのオープニング映像に、佐世保市の旧佐世保無線電信所「針尾送信所」が使われており観光客に人気のスポットになりつつあるとのことであったため、呉市でも整備されればドラマや映画等で利用され、新たな観光スポットとしてにぎわう可能性を感じた。

佐賀県 武雄市

■調査項目

- ・有害鳥獣対策について
- ・聴覚障害者向けライブ字幕サービス

・調査対応者

武雄市営業部	農林課	農産係長	中島 久典
武雄市営業部	農林課		吉川
(株)武雄地域鳥獣加工センター	取締役		松尾信行

・調査期日

令和4年5月11日(水) 午前11時～午前12時

・武雄市の概要

人口：47,914人
世帯数：17,624世帯

・調査目的

1 有害鳥獣対策について

イノシシ課から現在に至るまでの経緯と効果を知り、呉市での導入について研究することとした。

2 聴覚障害者向けライブ字幕サービスについて

公明党呉市議会議員団では、聴覚障害者向けの支援について長年検討してきたため、実際に9年もの前に導入された好事例として、経緯・導入・その後の活用で発生した問題や利点など調査することとした。

・調査内容

1 有害鳥獣対策について

① イノシシ被害の状況について

平成18年	対策後は徐々に減少	[被害額] 1,580万円
令和1年	被害が最小となる	[被害額] 189万円

令和2年 土砂災害により増加 [被害額] 529万円
(※増加理由：土砂の流入によりイノシシ対策用の柵等が破損したため)

② 捕獲報奨金について

- ・捕獲対象により変動する。

③ イノシシのパトロールについて

・主な業務内容

- 被害状況や出没地点，捕獲（駆除）地点の調査
- 電気柵・ワイヤーメッシュ柵の設置指導，設置後の管理指導
- イノシシ・アライグマ等の捕獲（罠設置）
- 工作放棄地や餌場などの環境調査
- 市民からの通報・要望に対する対応

④ 罠や柵、パトロール以外による鳥獣害対策について

- ・猛禽類（鷹等）によるドバト・カラスの追い払いを行っている。

⑤ 施設について

- ・鳥獣食肉加工処理施設

[設立経過]

- 平成 18 年 施設建設意思表示
- 平成 19 年 建設の調査検討
- 平成 19 年 農水省補助事業「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金」
- 平成 21 年 加工センター稼働

[施設概要]

- ・イノシシ肉の特産品化
- ・循環型社会の形成
- ・事業主：（株）武雄地域鳥獣加工処理センター（通称やまんくじら）
- ・総事業費
(予算)約 2,000 万円 (国 1,000 万円・県 200 万円・市 800 万円)
(実際) 3,036 万円 (無臭乾燥機及び付帯設備一式 2,706 万円
建屋 330 万円)
(国 55%，県 20%，市 25%，不足分は自己資金で補う)

[処理目標]

- (現在) 200 ～ 300 頭/年
- (目標) 2,000～3,000 頭/年

[処理方法の検討]

- ・焼却，埋葬，業者委託では限界があるため，新たに乾燥（減容化）を追加した。
- ・製品化（肥料・撒餌・ペットフード・オイル等の化粧品を研究中）。

2 聴覚障害者向けライブ字幕サービスについて(担当者不在の為，資料提供のみ)

① 本会議の情報発信の取り組みについて

- 昭和 60 年 ケーブルテレビによる生中継開始
- 平成 22 年 インターネットライブ配信開始
- 平成 24 年 聴覚障がい者向け文字配信について(株)アイセック・ジャパンと協議
- 平成 25 年 リアルタイム文字配信開始

② (株)アイセック・ジャパンとの契約内容について

- ・リアルタイム文字配信
- ・速報版作成（当日作成） … 当日中に議会ホームページへ掲載
- ・会議録作成（印刷製本用原稿） … 7 営業日以内に校正データを納品

【質疑応答】

Q:乾燥（減容化）させる機械の導入について。

A:福岡県に，ニワトリ用の乾燥（減容化）機械を導入している業者がおり見学へ出向いた。実際にイノシシが乾燥できるのかを実験した後，イノシシ用に改良製作したものを導入した。

Q:捕獲用の罠について。

A:箱罠が主流である。エサは3日に1回は変えている。

Q:食用について。

A:暴れて傷がついたもの，大きすぎるもの，小さすぎるもの等，食用可能なサイズが安定して捕獲できないことや，捕獲後は血抜きを30分～1時間以内に施さないといけないため，食肉用は僅かしか確保できない現状があり，捕獲数の1割～2割程度しか食肉用として加工されていない。

Q:販売販路について。

A:地元ではジビエ料理が根付いておらず，関西，関東地方に注文を受けて卸しており，100グラム300円～600円を相場として卸している。

Q:食肉用にならないイノシシは減容化機械に入れ，乾燥させ粉末に変える以外での活用方法はあるのか。

A:現在、肥料や撒餌、ペットフードに改良中である。

【呉市での展開の可能性】

呉市の有害鳥獣対策は、捕獲報奨金のほか電気柵等の設置し、3,000頭～4,000頭を捕獲、尻尾を切り取り、イノシシは土を掘り埋葬している。食肉用に利用するため、ワークショップを行う等の取り組みを行っている。しかし、課題として、高齢化が進み、捕獲した後の処理(埋葬)作業が困難で悩んでいること、食肉用として利用できるイノシシは条件が非常に厳しいということがある。

武雄市の有害鳥獣対策で導入している減容化機械は、食肉用以外のイノシシを丸ごと乾燥、圧縮して粉末に近いものに変えるため、肥料等の再利用化を進めることが可能である。この事業は、呉市においても、今後、より高齢化する狩猟免許所持者が埋葬作業に困難となることも見据え、また、イノシシの大切な命を資源として有効活用できることから、循環型社会の推進の一助となるものと考えられ、是非、本市にもイノシシの加工処理機械の導入と施設の建設を提案する。